

## 地域少子化対策重点推進補助事業実施計画書個票

市区町村名 **箕輪町** (都道府県: **長野県**)  
 本事業の担当部局名 **企画振興課**

事業メニュー	優良事例の横展開支援
区分	結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組
関連事業メニュー	3-(3) 主に若い世代に対し、結婚、妊娠・出産、子育て、仕事を含めた将来のライフプランを希望どおり描けるよう、その前提となる知識・情報を提供し、考える機会を持たせる取組
個別事業名	ライフデザインスクール
実施期間	交付決定日 ~ 令和3年3月31日
個別事業の内容	<p>(個別事業の内容) ※(注)2</p> <p>&lt;現状と課題&gt;        平成26年度実施した少子化対策町民意識調査(17歳)によると、結婚したい「25歳～29歳」156%、「20歳～24歳」126%、と20代で結婚を希望している者が8割を超えている一方で、「考えたことがない」が9%と1割を占めている。初めての子どもは何歳の時に欲しいかでは「25歳～29歳」156%、「20歳～24歳」116%、「30歳～34歳」11%、考えたことがない11%という結果であり、高校生は結婚・出産に対し、漠然とは考えているものの意識して向き合ったことがない者も少なくない。        一方で、平成26年度実施した少子化対策町民意識調査(20～39歳)では、出産について41%の者が「理想より遅くなりそう(遅くなった)」と回答。回答者の内訳では、契約・派遣・嘱託社員(68%)と無職(59%)と一際高くなっている。このことから、就労状況がライフイベントと深く関連していることがうかがえ、高校生が自身の結婚・出産を具体的にイメージするためには進路やキャリアも合わせて考えることが求められる。</p> <p>近年は社会の多様化、変化のスピード、価値観の拡散等の理由によりライフデザインを自ら描くことが難しく、これから大きな人生の岐路を迎える高校生にとっては、自分の「本当にやりたいこと」や夢の実現方法を出発点にして自身のライフデザインについて考える機会が必要である。</p> <p>&lt;課題への対応&gt;        町内在住の高校生を対象として、結婚や子どもを産み育てることを自分のこととして前向きに捉え、妊娠・出産を含めた将来設計(ライフデザイン)を描く機会を提供するため、ライフデザインセミナーを令和2年度から新規に実施する。高校生にとって、結婚、妊娠・出産、子育て等人生の様々なライフイベントは先の事柄として捉えられているため、少し身近な自分の「本当にやりたいこと」や夢の実現方法を考える機会を出発点にライフデザインを学ぶ。結婚、妊娠・出産、子育てといったライフイベントを軸に人生全体を考える内容とし、本人が意図しない晩婚化・晩産化を抑制する。</p> <p>【実施方法】        目的 ライフデザインが困難な社会を生き抜くための力をつける。        自分自身の人生を自ら作りあげていくための実践的な方法を学ぶ。        結婚、妊娠・出産、子育て等のライフイベントを軸として人生を考える。        対象 箕輪町在住・在学の高校生 25人        実施日数 2日(2日通い式)        場所 箕輪町商工会</p> <p>※東京を拠点に中学生・高校生向けのキャリア教育に関する活動を行っている一般社団法人Unicul Laboratoryへセミナーの企画運営を委託予定。同社は、2018年から上伊那地域の高校生を対象にキャリアデザインセミナー「伊那谷サマースクールINみのわ」の開催実績があり、町は事業後援をしてきた。そこで培ったノウハウや高校生とのつながりを活かし、結婚、妊娠・出産、子育て等人生の様々なライフイベントを軸に人生全体を考えるライフデザインセミナーを実施したい。        結婚、妊娠・出産、子育てに関する実体験を高校生に伝える社会人メンターは、地域企業の協力を得て従業員を推薦してもらおう。これに加え、町内での事例が少ない分野(授乳期のテレワーク等、出産後も継続して働く女性等)については、当団体を通し都市部からも社会人メンターを補い、多様なロールモデルを確保する。        また、町保健師、男女共同参画担当者等からライフイベントに関する知識を説明し、結婚し子どもを産み育てることを前向きに捉え、妊娠・出産を含めたライフデザインを考えてもらう。        参加者を少人数のグループ(5人×5グループ)に分けたワークショップ形式で行う。地域や首都圏から集めた大学生を各グループにスタッフとして付け、参加者に近い立場からピアサポートする。</p> <p>○セミナー企画運営スタッフの募集(5月頃)        インターネットを利用し上伊那地域の大学生や企業及び首都圏の大学生からスタッフを募集する。        ●打合せ1回目(首都圏スタッフ3人宿泊予定)        1日目 町との打合せ        町保健師及び男女共同参画推進担当等と、講演内容・ワークショップの進め方について決定する。        2日目 地域企業の訪問        事業を説明し、社会人メンター(子育てと仕事を両立している従業員)の推薦・参加協力をお願いする。</p> <p>○参加高校生の募集(6月頃～)        チラシ等広報媒体を作成して上伊那地域の高校や自治体に協力を依頼し、高校生や先生方、保護者を対象とした広報を行う。        上伊那地域の高校を訪問してライフイベントについて考えたいようなミニイベントを開催(首都圏スタッフ3人宿泊予定)し、セミナーへの参加を働きかける。        ●打合せ2回目(首都圏スタッフ3人宿泊予定)        1日目 上伊那地域で開催予定のキャリアフェスに参加し、地元企業に事業をPR        社会人メンターの推薦・参加協力を追加でお願いするとともに、興味を持った企業関係者を見学に誘導する。        2日目 地域の社会人メンターや大学生スタッフとの打ち合わせ        高校生への伝え方やワークショップの進行方法等を確認する。</p>

- セミナー開催(8月頃)  
 前日 会場準備、リハーサル(首都圏スタッフ3人宿泊予定)  
 1日目 10:00~17:00「人を知る(仮)」  
 仕事とともに結婚、妊娠・出産、子育て等を経験した社会人メンターから話を聞き、多様な人生に触れることで、自身のライフデザインの具体的なイメージを膨らませる導入とする。  
 さらに大学生スタッフが間に入りながら、社会人メンターと質疑応答を行い、ライフイベントへの理解を掘り下げる。  
 2日目 9:00~16:00「過去・現在・未来の自分と向き合う(仮)」  
 過去の経験や現在の自分の価値観を見据え、将来の生涯設計(進路とライフデザイン)を考えてみる。  
 町保健師から身体の仕組みを学び、身体的な面から妊娠・出産の希望時期を考える。  
 町男女共同参画担当等から、結婚、妊娠・出産、子育てといったライフイベントと、仕事の両立を考えるための知識や、夫婦のあり方について話をきく。  
 ワークショップ形式で結婚、妊娠・出産、子育て等のライフイベントを軸に、自分自身の具体的なライフデザインを描く。
- 報告書完成(11月頃)  
 協力企業等へ訪問  
 今年度事業の実施結果を報告し、来年度の協力を依頼する。

【留意点】  
 特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりすることがないように配慮する。

＜次年度以降に向けた事業の方向性＞  
 町が主体的に3年関わり継続実施し、地域企業の社会人メンターやセミナー受講者を運営側のスタッフやメンターとして育成し、3年後には地域の有志団体により自走する仕組みを作る  
 中学生まで対象を広げ、より早い段階からライフプラン考える機会を提供  
 事業主体及びセミナー内容の見直しに伴い参加費を参加者負担とすることも検討

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】  
 ライフデザインセミナー(長野県健康福祉部保健・疾病対策課)

	KPI項目		単位	目標値
	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)3	参加目標人数		人
参加目標人数の達成率			%	80
妊娠・出産等に関する医学的・科学的に正しい知識を得られた参加者の割合			%	60
講義等を友人等に勧めたいと思った参加者の割合			%	60
ライフデザインの大切さを考えさせられた参加者の割合			%	60
育成した地域企業の社会人メンター			人	5
・都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)4	上伊那地域の高校を訪問し、事業の告知・広報協力を依頼する。 上伊那地域の高校を訪問し、先生からメンター候補者を紹介していただく。			
・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5	町内企業を主とした企業からメンターとして社員に参加してもらいます。 町商工会に事業協力及び会場の提供協力をしていただきます。 町内学習塾を訪問し、事業の告知・広報協力を依頼します。			
・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)6	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 学校教育課、商工観光推進室、結婚支援担当、健康推進課 (配慮すること) 小中学生を対象としたキャリア教育を実施。町内企業の紹介、仲介、協力依頼。町保健師から身体について講義。			
・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input checked="" type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) セミナー企画運営 (随契の理由) 上伊那の高校生を対象としたセミナー教育の活動実績があり、かつ若年層の自己決定に資するワークショップのノウハウを有する団体を委託先としたいため。			
・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有の場合の担当部局: _____			

個別事業の内容